

JLA 主催競技会会場の公募 応募用紙

申請団体名 (都道府県協会・加盟クラブ)	
担当者氏名	
担当者連絡先	携帯番号： メール：
応募する競技会名称 開催希望年	2027 年度 サーフカーニバル 第 40 回全日本ライフセービング種目別選手権
会場候補地名 (海岸名・施設名)	

■ 申請条件

原則として、都道府県ライフセービング協会からの申請を基本とします。

都道府県ライフセービング協会の代わりに加盟クラブが主体となって動く場合は、必ず事前に都道府県ライフセービング協会の許可を得てから、申請や問い合わせをお願いします。

■ 記入方法

必ず全ての項目にチェックをつけてください。

ボールド（太文字）は開催地の決定において必須条件となります。

チェックの付け方は以下の通り。

○・・・対応している。可能である。条件を満たしている。

△・・・一部対応している。条件つき。要相談。

×・・・対応していない。不可である。条件を満たしていない。

※△の場合、コメント欄に状況や課題などを詳細にご記載ください。

■ 申請方法

こちらの応募用紙を、メール添付にて申請をお願いいたします。

宛 名：JLA 主催競技会会場の公募について

送付先：JLA 事務局・競技専用窓口（compe@jla.gr.jp）

共 通 項 目		チェック			コメント記入
		○	△	×	
1	競技会会場近辺に、競技会参加者（選手・スタッフ）が宿泊できる施設が揃っていること （安価で良質な宿舎を斡旋できると望ましい） ※競技会毎に規模は異なるが、およそ 400 人～1,000 人が収容できること	☐	☐	☐	
2	大会会場まで公共交通でアクセスできることが望ましい	☐	☐	☐	
3	会場、宿舎、最寄り駅が、直径 5km 圏内にあることが望ましい	☐	☐	☐	
4	大会開催中に出たゴミを処理することができること	☐	☐	☐	
5	日中、夜間ともに治安が管理されていること	☐	☐	☐	
6	地元の警察、消防、海上保安庁との連携が整っていること	☐	☐	☐	
7	大会会場より 25 k m圏内に総合病院があり、医療施設が整っていること	☐	☐	☐	
8	緊急車両が大会会場まで通報より 10 分以内で到着できること	☐	☐	☐	
9	大会開催中は地元加盟クラブのライフセーバーによる安全管理が可能なこと	☐	☐	☐	
10	ライフセーバーが使用する救助器材を用意できること	☐	☐	☐	
11	津波や地震発生の際、海岸全域にアナウンスできる放送施設を用意できること	☐	☐	☐	
12	地域住民への告知や、地元メディアに対し広報の斡旋協力ができることが望ましい	☐	☐	☐	
13	競技会運営（事前事務手続き等も含む）に協力できること	☐	☐	☐	
14	開催地となる自治体等との交渉対応のフォローができること	☐	☐	☐	
15	開催地となる自治体等の補助金や助成金等の支援が見込めること	☐	☐	☐	
16	開催地となる民間団体や民間企業等による協賛金などの支援が見込めることが望ましい	☐	☐	☐	

オーシャン競技・海岸の条件		チェック			コメント記入
		○	△	×	
1	安全で整地と清掃の行き届いた海岸であること	☐	☐	☐	
2	遠浅で良質な砂浜であること	☐	☐	☐	
3	水質が保健所で定める基準に満たしていること	☐	☐	☐	
4	海岸の全長が 500m以上あること	☐	☐	☐	
5	海岸の全幅が満潮時で 30m以上あること	☐	☐	☐	
6	沖合に向かって真直ぐ 300m以上コースがとれること	☐	☐	☐	
7	海岸管理者、漁業、サーファー等と調整を図り、競技ブイが打ち込めること	☐	☐	☐	
8	開催する月の平均波高が 1 m以上 1.5m未満であることが望ましい	☐	☐	☐	
9	大会会場の海岸に隣接して 500 台以上の駐車場が確保できること	☐	☐	☐	
10	大会会場の海岸に隣接してトイレ、シャワー、更衣室の施設が充分にあること	☐	☐	☐	
オーシャン競技・気候					
11	開催する月の平均気温が 18℃以上であること	☐	☐	☐	
12	開催する月の平均水温が 16℃以上であること	☐	☐	☐	
オーシャン競技・ビーチ種目					
13	ビーチフラッグス：傾斜の無い 30m×30m 四方が確保できること	☐	☐	☐	
14	ビーチスプリント：傾斜の無い 140m×25m 四方が確保できること	☐	☐	☐	
15	ビーチラン：なるべく傾斜の無い最短 250m のコースが確保できること	☐	☐	☐	
16	参加選手や競技役員等スタッフが待機できる十分な広さのビーチ幅があること	☐	☐	☐	

その他自由記述